

# 創立40周年記念事業

## \*—産業カウンセリング調査—\*

### 調査参加のお願い

拝啓 会員の皆様にはお元気でご活躍のことと存じます。

協会は皆様のご協力により本年11月に創立40周年を迎えることとなります。特にこの10年は、会員の増加がいちじるしく、現在7,000名の会員を擁する団体として成長することができました。

このことは、近年の社会状況の変化から、産業カウンセリングの必要性が増していること、また産業カウンセラー資格が労働省認定の資格となったことも反映していると思われまます。

このような状況のなか、協会として今後一層、産業カウンセリングの啓蒙、普及に力を入れ、会員の活動の場を確保していきたいと考えます。とりわけ一万人の初級産業カウンセラーの資質の維持、向上への支援も、全国展開できるよう努力を重ねて参りたいと存じます。

そこでこの度、40周年の節目の事業として、下記の項目により、会員の意識と実態の調査（カウンセリングリサーチ）を行ない、今後の協会の活動に反映させていきたいと考えます。

会員の皆様に、ぜひこの調査にご参加、ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

敬具

### 調査内容

- I 協会員であることの目的
- II 産業カウンセリングの学習
- III 産業カウンセラーとしての活動
- IV 産業カウンセリングについて
- V 産業カウンセラーの資格

○調査の結果は、公表します。(冊子の予定)

○調査結果の一部を11月2日の40周年記念行事に発表し、機関誌に掲載予定です。

以上

◎ご記入にあたって

ご回答は項目ごとに付されている□の中に番号をお書き下さい。

◎返送期日

同封の専用封筒にて9月25日(月)までに事務局必着にて返送ください。(切手不要)



**あなたのプロフィールについておたずねします。**

○ 性別

1. 男 2. 女

○ 年齢

1. ~24才まで 2. 25才~29才 3. 30才~34才 4. 35才~39才  
5. 40才~44才 6. 45才~49才 7. 50才~54才 8. 55才~59才  
9. 60才~64才 10. 65才~69才 12. 70才以上

○ 居住地

1. 北海道 2. 東北 3. 中部 4. 関西 5. 中国 6. 四国  
7. 九州 8. 沖縄 9. 茨城、栃木、群馬 10. 埼玉、千葉  
11. 東京 12. 山梨、長野、新潟 13. 神奈川

- (注) 東北 (青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)  
中部 (富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重)  
関西 (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)  
中国 (鳥取、島根、岡山、広島、山口)  
四国 (徳島、香川、愛媛、高知)  
九州 (福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、鹿児島、宮崎)

○ 産業カウンセラー資格

1. 初級 2. 中級 3. 上級 4. なし

○ 最終資格取得年度

1. 平成3年以前 2. 平成4年 3. 平成5年 4. 平成6年 5. 平成7年  
6. 平成8年 7. 平成9年 8. 平成10年 9. 平成11年 10. 無

(注) 平成3年以前：旧1級もしくは2級取得者 (移行審査合格者を含む)

○ 現在の職業等

・業種

1. 建設・不動産 2. 水産・農林・鉱業 3. 食料品 4. 製造 5. 商業  
6. 金融・保険 7. 運輸 8. 化学 9. 情報・マスコミ  
10. サービス 11. 医療・福祉 12. 公務員 13. 主婦 14. 学生  
15. 自由業 16. その他

・職種

1. 管理職 2. カウンセラー 3. 医療職 4. 教職 5. 調査・企画  
6. コンサルタント 7. 営業・販売サービス 8. 技術職  
9. 研究開発 10. 人事総務 11. 経理会計 12. 教育研修 13. 編集  
14. 事務職 15. 経営者 16. その他

・就労形態

1. 自営業・会社の経営者 2. フルタイムの正社員、正職員  
3. パート・アルバイト 4. 契約社員 5. 無職 6. その他



## 産業カウンセリング調査

の中に番号をご記入ください

### I 協会員であることの目的

1 あなたが協会に入っている主な目的は何ですか（2つまで選択可）

- (1) 協会は労働省の認定資格をだしている団体だから
- (2) 産業カウンセリングについてが一番大きな団体だから
- (3) 産業カウンセラーの資格をとりたい（とりたかった）
- (4) 産業カウンセリングの現状、活躍している人のこと等の情報が得られる
- (5) 産業カウンセリングの社会的意義、必要性を感じているので、会員として活動したいから
- (6) 産業カウンセラーとの仲間意識
- (7) 初級資格取得後中級受験にむけての情報が得られるから
- (8) 産業カウンセラーの転職、就職情報がほしいので
- (9) 産業カウンセリングの学習情報が得られる
- (10) その他（    ）


### II 産業カウンセリングの学習

#### [動機]

2 産業カウンセリングの学習動機を2つあげてください

- (1) 友人・知人等に勧められたから
- (2) 会社から勧められた
- (3) 資格をとりあえず取得しておこうと思ったから
- (4) 就職転職に有利と思ったから
- (5) 職場または仕事上必要性を感じたから
- (6) 自分自身の生きがい対策の一つとして
- (7) カウンセリング・心理学等に興味があったから
- (8) 産業カウンセラーの仲間とつながっていたいから
- (9) 自分の職域を広げるため
- (10) カウンセラーとしてのレベルアップをしたい
- (11) 自分の悩み事を解決したかったから
- (12) 自分の経験が生かせるような気がした
- (13) 自分で自分のことをもっと知りたいと思った
- (14) 友人・知人・身内等をサポートする必要性に迫られたから
- (15) その他（    ）


#### [効果]

3 産業カウンセリングの学習で得られた効果は？（2つまで選択可）

- (1) 職場の人間関係に生かすことができた
- (2) 産業カウンセラーの資格を得た
- (3) 産業カウンセリングの知識・スキルを身につけることができた
- (4) 仲間ができた
- (5) 転職・就職・転勤・異動等に有利にはたらいた
- (6) 人間関係の対応がうまくできるようになった
- (7) 自分自身の生き方により変化をもたらしている
- (8) 自分自身を良くも悪くもよく知ることができた
- (9) とらわれやこだわりから自由になり、今までとはものの見方が変わった
- (10) 仕事に生かすことができた
- (11) その他（    ）




**【方法】**

4 あなたは産業カウンセリングの学習をどのように継続していますか（3つまで選択可）

- (1) 実際の活動をとおして
- (2) スーパービジョンを受けている
- (3) 専門分野がもてる学習会に参加している
- (4) グループでその時々テーマを決め幅広く勉強をしている
- (5) 自分で目標を定め勉強している
- (6) 興味のある心理療法を主に学んでいる
- (7) 特にしていない
- (8) その他（                                      ）


**【場所】**

5 学習は主にどこでしていますか（2つまで選択可）

- (1) 協会、支部、部会（分会）の講座や勉強会
- (2) 当協会の仲間を中心とした自主グループでの勉強会
- (3) その他の研修機関で
- (4) 上記(1)(2)(3)を全て参加
- (5) 大学院、大学（放送大学等含む）で
- (6) 独学
- (7) その他（                                      ）


**【学習上の問題】**

6 産業カウンセリングの学習をするときどんな問題を抱えていますか（3つまで選択可）

- (1) 学習の情報が少ない
- (2) 学習したいが、時間、費用の点で出来ない
- (3) スーパーバイザー等相談できる人がいない
- (4) 何を勉強したらよいか分らない
- (5) 近い所や地域で研修会が開かれていない
- (6) 実際に抱えているケースを語り合う仲間が少ない
- (7) 特に悩みはない
- (8) その他（                                      ）


**【倫理綱領】**

7 あなたは協会に産業カウンセラーの倫理綱領があることを知っていますか

- (1) 知っていて熟知している
- (2) 知っていてだいたい理解している
- (3) 知っている
- (4) 知らない

--

**【カウンセリング体験】**

8 あなたご自身カウンセリング（キャリアカウンセリング等を含む）を受けたことがありますか

- (1) 受けたことがある（無料で）
- (2) 受けたことがある（有料で）
- (3) 教育カウンセリングを受けた（受けている）
- (4) 今後、困ったことがあれば、受けてみたいと思う
- (5) 受けたことがないが今後クライアント体験をする予定
- (6) 受けたことがないし今後も受ける予定はない

--



### Ⅲ 産業カウンセラーとしての活動

#### [活動領域]

9 産業カウンセラーとしての活動は公私共いろいろな幅広くあります。  
現在又は過去も含め下記の活動項目で該当するものにすべての番号  
を□に記入してください

○ (産業カウンセリングの啓蒙・普及活動)

- (1) 産業カウンセリングの企業への導入や普及に力を入れている
- (2) メンタルヘルスの講演、研修をする
- (3) 産業カウンセリングの学習の企画や運営にたずさわる


○ (キャリアカウンセリングの相談)

- (4) キャリアカウンセリングの相談員として活動している

--

○ (能力開発を目的とした活動)

- (5) 協会の産業カウンセラー養成講座で実技指導
- (6) 産業カウンセリングや、カウンセリング関係研修講師
- (7) キャリアカウンセリングの研修講師
- (8) 研修等 (新入社員、管理者等) の社内講師
- (9) その他 ( )


○ (相談)

- (10) 相談員、産業カウンセラーとして活動している
- (11) 管理監督者として仕事の一部として活かしている
- (12) 職場の中で活用している (ピアカウンセリング等)
- (13) 他の仕事・業務に付随して産業カウンセリングをしている  
(例・社労士、中小企業診断士等)


○ (産業カウンセリングを活かした活動)

- (14) 職場の人間関係に活用している
- (15) 地域のボランティア活動に活用している
- (16) 家族、友人など、身近な生活場面で活用している
- (17) 児童、生徒、学生等のカウンセラーとして活動している
- (18) その他 ( )


○ (19) 活動していない

--

#### [活動の場所]

10 あなたは主にどこで産業カウンセラーとして活動していますか (2つまで選択可)

- (1) 企業の中で (職場で)
- (2) 要請された相手先で
- (3) 企業の相談室、カウンセリングルームで
- (4) 健康管理室で
- (5) 独立した民間の機関で
- (6) 当協会
- (7) 公的機関で
- (8) 学校で
- (9) 地域で
- (10) 活動する場がない
- (11) その他 ( )




**[活動したい分野]**

11 あなたは今後最も活躍したいのはどの分野ですか

- (1) キャリアカウンセリング
- (2) 能力開発・自己啓発の援助
- (3) 相談・メンタルヘルス活動
- (4) 産業カウンセリングの啓蒙・普及活動
- (5) その他 ( )

--

**[相談相手]**

12 あなたは産業カウンセラーとしての相談の必要性を感じた時、どんな人に相談しますか (主なものを2つまで選択可)

- (1) 協会の仲間
- (2) 産業医、専門医等に相談する
- (3) 友人・知人に相談する
- (4) 上司・人事担当に相談する
- (5) 研修会等で講師に聞く
- (6) スーパービジョンを受ける
- (7) 相談する相手がいない


**[問題]**

13 産業カウンセラーとしてかかえている問題を、お聞かせ下さい (主なものを2つまで選択可)

- (1) 相談者が多いので対応におおわらわでじっくり聴けない
- (2) 相談者が、思いのほか少なく、じっと待つのが辛い
- (3) ともかく守備範囲が広く、取りあえずの事態の収拾に精一杯で十分対応できずにいる
- (4) 内部では産業医や人事担当等、さらには地域の医療機関 (医師等) との連携がいまひとつである
- (5) 相談ケースを通じて、職場の環境改善を申し出ても、思うに任せない
- (6) カウンセリングが企業にとって、「コストダウン」に繋がる説明の方法がわからない
- (7) 仕事上能力の限界を感じる時がある
- (8) 産業カウンセラーを専門の職業にするには、仕事が少ない
- (9) プロとしての報酬が認められるべきだ
- (10) 収入を伴う職業と直接つながらない
- (11) 特にない
- (12) その他 ( )


**IV 産業カウンセリングについて**

**[周囲の認識]**

14 あなたは周囲の人が産業カウンセリングについてどのように認識していると思いますか (3つまで選択可)

- (1) 産業カウンセリングで、ストレスの対処法を身につけられる
- (2) 困った人が相談できる援助活動
- (3) 産業カウンセリングでは精神的に弱い人を支援する
- (4) 企業の中では産業カウンセリングの必要性が認識されつつある
- (5) キャリアカウンセリングの必要性を最近まわりで聞くようになった
- (6) 企業は産業カウンセリングの役割を十分に理解していない
- (7) 企業の中で、メンタルヘルスに関してまだ十分理解が得られていない
- (8) 管理者のメンタルヘルスに関する理解は不足している
- (9) 住んでいる地域では産業カウンセリングについての理解が足りない
- (10) マスメディアでとりあげられるようになってきた
- (11) 人間関係の研修や教育に役立っている








\* 以下は企業等で働いている方にお伺いします

## V 産業カウンセラーの資格

18 あなたは産業カウンセラー資格の取得について企業に報告しましたか

- (1) 報告した
- (2) これから報告する
- (3) 報告しない

19 資格取得を企業に報告するとあなたの企業での待遇が変わりますか

- (1) 変わった、または変わる
- (2) 変わらない
- (3) 待遇は変わらないが仕事面に生かすことができた
- (4) わからない

20 あなたは産業カウンセラーの資格を取得したことを、企業に対し協会から報告して欲しいですか

- (1) 報告してほしい
- (2) 報告してほしくない
- (3) どちらでもよい

21 あなたの企業にはあなた以外に産業カウンセラーの資格をもった人がいますか

- (1) いる
- (2) いない
- (3) わからない

22 あなたの企業では産業カウンセラーの資格を、取得奨励資格の一つに入れてありますか

- (1) 入れている
- (2) 入っていない
- (3) わからない

23 ① あなたの企業にはカウンセリングルーム（相談室）がありますか

- (1) ある
- (2) 以前はあったが今はない
- (3) もうすぐできる予定
- (4) 企業・労組等が契約した相談室がある
- (5) ない
- (6) わからない

上記で(1)または(2)をお選びになった方のみにお伺います

② カウンセリングルームは気楽に利用されていると思いますか

- (1) 気楽に利用されていると思う
- (2) 利用されていないと思う
- (3) どちらとも言えない

\* 企業等に働いている方全員ににお伺いします

24 カウンセリングルームを利用しにくい要因があるとしたら何だと思えますか

- (1) PRが不足
- (2) 場所がいきにくい所にある
- (3) 社内的に利用しにくい雰囲気がある
- (4) カウンセラーの人柄が影響している
- (5) 仕事が忙しすぎて、勤務時間中にいく暇がない
- (6) 相談室の開設時間が勤務時間内のため
- (7) 守秘性についての疑念がぬぐいきれていない
- (8) その他 ( )

ご協力ありがとうございました